EPISODE 4-3

— 出演命令 —

▼ Surgeon

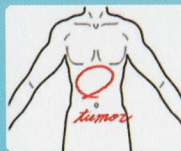
Markus　Valerie

▼ Data

［患　部］胃

［バイタル］80(99)

［手術時間］5:00:00

▼ Notes

テレビ番組収録中に執刀を行なうエピソード。患者は胃と心肺の合併症のため、胃の表面には小腫瘍を生み出す腫瘍が多数発生する。

The patient's Life is in your hands

1. 腹部を消毒して切開（切開→P24）
2. 腫瘍×3を特定し、すべて切開する（腫瘍→P26）
3. 腫瘍×3の組織液をまとめて吸引し、3つの腫瘍を順番に切り離す（腫瘍→P26）
4. 腫瘍×3を取り除き、追加トレイにある人工膜を切除痕に乗せて定着させる（腫瘍→P26）
5. 発生した小腫瘍を焼却し、レーザー痕を1ヵ所だけ残すように治療（小腫瘍→P27）
6. バイタルを90付近まで回復させ、残ったレーザー痕を治療（バイタル回復→P23、小腫瘍→P27）
7. 右上に発生した腫瘍×2を特定し、すべて切開する（腫瘍→P26）
8. 腫瘍の組織液と周囲にある血溜まりを吸引し、腫瘍を切り離す（腫瘍→P26、血溜まり→P24）
9. 腫瘍を取り除き、追加トレイにある人工膜を切除痕に乗せて定着させる（腫瘍→P26）
10. 発生した小腫瘍をまとめて焼却し、レーザー痕を治療（小腫瘍→P27）
11. 術野を上に移動し、腫瘍を切開（腫瘍→P26）
12. 8～10の手順で腫瘍と血溜まりを処置（腫瘍→P26、血溜まり→P24）
13. 術野を下に移動し、腫瘍×2を切開（腫瘍→P26）
14. 腫瘍の組織液を吸引しようとすると、ドレーンが故障するイベントが発生
15. ドレーンが使用できるまでバイタルを回復（バイタル回復→P23）
16. ドレーン復活後に心細動が発生し、心停止後に心臓マッサージを6回行なう（心細動→P31）
17. バイタルを回復（バイタル回復→P23）
18. 胃の右上部に発生した血溜まりと腫瘍×2の組織液を吸引（血溜まり→P24、腫瘍→P26）
19. 8～10の手順で腫瘍と血溜まりを処置（腫瘍→P26、血溜まり→P24）
20. 術野を左下に移動
21. 血溜まりをすべて吸引し、バイタルを回復する（血溜まり→P24、バイタル回復→P23）
22. 腫瘍×3を特定し、すべて切開する（腫瘍→P26）
23. 8～10の手順で腫瘍、血溜まり、小腫瘍を処置（腫瘍→P26、血溜まり→P24、小腫瘍→P27）
24. 腹部の閉創処置を行なう（閉創→P25）

The patient is saved

9 人工膜を乗せるときは血溜まりに注意。切除痕の周囲に血溜まりがあると、新たな人工膜が必要になる。

14 約20秒間ドレーンが使用不可になる。そのあいだはバイタルが下がっていくので、しっかりと回復させておこう。

17 素早く腫瘍の処置ができるならバイタル回復を後回しにして、腫瘍除去中にバイタルの回復を行なってもいい。

SPECIAL BONUS

SPECIAL BONUS 獲得条件	Easy	Normal	Hard	倍率
Miss 判定無し	—	—	—	1.3
○○秒以上残して手術終了 ※	80	100	110	1.2
MAX CHAIN ○○○以上	120	180	190	1.2
Cool 判定○○回以上取得	5	10	12	1.3

※分表示ではそれぞれ、Easy1:20　Normal1:40　Hard1:50

OPERATION RANK

ランク	Easy	Normal	Hard
C	0～4199	0～6199	0～7799
B	4200～4399	6200～6499	7800～7999
A	4400～4599	6500～6699	8000～8299
S	4600～	6700～	8300～8499
XS	—	—	8500～

EPISODE 4-4

— 対決 —

▼ Surgeon

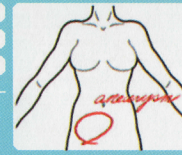
Markus　Valerie

▼ Data

［患　部］大腸

［バイタル］80(99)

［手術時間］5:00:00

▼ Notes

ドクター・ペロとの執刀対決。患者の大腸に発生している動脈瘤と、巨大動脈瘤のすべてを除去することが目的となる。

The patient's Life is in your hands

1. 腹部を消毒して切開（切開→P24）
2. 動脈瘤に鎮静剤（茶色の液体）を投与し、ガイドラインに沿って瘤を切り離す（動脈瘤→P33）
3. 瘤を取り除き、血溜まりを吸引（動脈瘤→P33）
4. 血管を繋げ 接合部分を縫合（動脈瘤→P33）
5. 巨大動脈瘤に鎮静剤を投与し、ガイドラインに沿って瘤を切り離す（巨大動脈瘤→P33）
6. 瘤を取り除き、血溜まりを吸引（動脈瘤→P33）
7. 追加トレイの人工血管を血管と血管のあいだに配置（巨大動脈瘤→P33）
8. 血管の接合部分×3を縫合（巨大動脈瘤→P33）
9. バイタルを回復（バイタル回復→P23）
10. 動脈瘤×2に鎮静剤を投与（動脈瘤→P33）
11. 術野を左に移動させて鎮静剤を巨大動脈瘤、動脈瘤の順に投与し、巨大動脈瘤の瘤を切り離す（巨大動脈瘤→P33、動脈瘤→P33）
12. 6～8の手順で巨大動脈瘤だけを先に処置する（巨大動脈瘤→P33）
13. 術野を右に戻し、右下にある動脈瘤を2～4の手順で処置する（動脈瘤→P33）
14. 術野を左に移動させ、動脈瘤を2～4の手順で処置する（動脈瘤→P33）
15. 術野を右上に移動させ、動脈瘤を2～4の手順で処置する（動脈瘤→P33）
16. 巨大動脈瘤×2に鎮静剤を2回ずつ投与し、続けて左下 右上の動脈瘤の順に鎮静剤を投与（巨大動脈瘤→P33、動脈瘤→P33）
17. 薬の効果が切れた巨大動脈瘤×2に鎮静剤を2回ずつ投与（巨大動脈瘤→P33）
18. 左下の動脈瘤を2～4の手順で素早く処置し、薬の効果が切れた巨大動脈瘤×2に鎮静剤を2回ずつ投与（動脈瘤→P33、巨大動脈瘤→P33）
19. 右上の動脈瘤を2～4の手順で素早く処置し、薬の効果が切れた巨大動脈瘤×2に鎮静剤を2回ずつ投与（動脈瘤→P33、巨大動脈瘤→P33）
20. 巨大動脈瘤（あとに鎮痛剤を投与した側）の瘤をガイドラインに沿って切り離し、6～8の手順で処置する（巨大動脈瘤→P33）
21. 最後に残った巨大動脈瘤を5～8の手順で処置する（巨大動脈瘤→P33）
22. 腹部の閉創処置を行なう（閉創→P25）

The patient is saved

11 巨大動脈瘤には2回鎮静剤を打つ必要がある。ただし2回目は微量でいいので、余った分は動脈瘤に投与しよう。

15－1 この動脈瘤を処置中に別の動脈瘤が発生する。発生位置のことを考え、動脈瘤が左上になる位置で処置しよう。

15－2 安全に進めるなら、瘤を取り除くまえにバイタルを回復。準備ができたら処置を続け、次の動脈瘤発生に備える。

SPECIAL BONUS

SPECIAL BONUS 獲得条件	Easy	Normal	Hard	倍率
Miss 判定無し	—	—	—	1.3
○○秒以上残して手術終了 ※	110	140	130	1.2
MAX CHAIN ○○○以上	45	50	60	1.2
動脈瘤を破裂させない	—	—	—	1.3

※分表示ではそれぞれ、Easy1:50　Normal2:20　Hard2:10

OPERATION RANK

ランク	Easy	Normal	Hard
C	0～5799	0～6799	0～7999
B	5800～5899	6800～7099	8000～8199
A	5900～6049	7100～7299	8200～8499
S	6050～	7300～	8500～8699
XS	—	—	8700～